

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報 告 者	楊河健太郎	市確認欄	
専門部会名	第 1 回	子ども部会	
日 時	令和 8 年 6 月 17 日（水） 10 時 30 分～12 時 00 分		
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出 席 者	部会員 11 名		事務局 4 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り・ ☐ なし		
次第	はじめに 1 前回と全体会振り返り、今年度のテーマ、年間スケジュール 2 特別支援教育コーディネーター研修について 3 就労部会との合同部会について（振り返りと今後に向けて） 4 支援が必要な子ども等のためのサービスガイド（仮）について 5 その他 （1）事業所交流会 （2）就学説明動画 （3）週末の過ごし方カレンダー （4）医療的ケア児の現状と今後		
報告・検討 の内容	はじめに R8 年度の会長・副会長の紹介、新メンバーの自己紹介を行った。 部会関係の連絡と資料の送付は原則としてヘルピーネットに統一し補完としてメールを用いる、資料の準備はペーパーレス化への協力のもと各自行う、必要に応じてヘルピーネット上でリアクション・事前意見交換を行うことを共有した。部会員のヘルピーネット登録状況を確認した。 1 前回と全体会振り返り、今年度のテーマ、年間スケジュール 前回の部会と全体会の振り返りを行い、今年度のテーマを確認した。 R8 年度子ども部会のテーマは、「就労を見据えた学齢期からの支援」「学校・保育園・事業所での連携」「医療的ケア児への対応」の 3 本柱である。早期支援から就労など将来を見越した視点を入れ込むこと、関係機関の連携強化、医療的ケア児支援の検討を進めていく。また全体会で挙げられた 3 テーマ「意思決定支援」「家族支援」「強度行動障害」の要素も従来の取り組みに追加し、部会内で意見交換し実践へとつなげていく。 年間スケジュールを以下のように確認した。全体会は部会長・副部会長と事務局主担当が参加、全体会の日程は別途連絡とすることも確認した。 第 1 回：6 月 17 日（本日） 第 2 回：9 月 2 日（特別支援コーディネーター研修） 第 3 回：10 月 21 日（就労部会との合同部会）		

全体会：12月（調整中）

第4回：2月17日

2 特別支援教育コーディネーター研修について

(1) 日時 9月2日（火） 14時00分～16時00分

場所 にっしんマスプロ市民会館 展示ホール

講師 日進高等学校附属中学校副校長伊藤良氏

(2) 講義に盛り込みたいテーマについて

希望する講義内容について意見を募った。合理的配慮の具体例・生徒数や学級の規模について・市内外含め入学対象者・選考基準・進学先など具体的な情報を教えて欲しいという意見を得た。また不登校特例校としての学校の支援体制や実際の取り組み状況・支援室などの設備・生徒が安心して過ごせる環境づくりについても知りたいとの意見があった。

(3) 事例検討について

学校教育課より、昨年度のテーマ「進路選択で悩む事例」が特に小学校教諭にとって事例を選びにくいテーマであったことも踏まえ今年度のテーマは「対応に困っている事例」に決まったと報告された。昨年度の振り返りを行い、個人情報の扱いに迷った・保護者の話題ばかりになった・グループによって検討の仕方に差があったとの意見が出た。また事例検討においても、意思決定支援や家族支援も重要なテーマとなることが共有された。研修には部会員は原則参加、途中参加・退席も可、その他相談員や事業所の参加者も可であり、ヘルピーネットで出欠を把握していく。

→子ども部会の意見を学校教育課より講師へお伝えし可能な範囲で講義に反映していただく。

→事例検討は、各グループに事例検討の経験のある先生を配置し円滑な進行を目指す。また事例検討において家族の支援や本人の意思を踏まえた支援についての議論を目指す。

3 就労部会との合同部会について（振り返りと今後に向けて）

就労部会との合同部会で扱うテーマについて意見を求めた。就労部会主催の就労説明会について、切れ目のない将来を見据えた支援の観点から、来年度説明会の開催に子ども部会としてもできることを検討すべきとの意見が出た。また家族が目目の前の子どもの状況だけに集中する事例が多いことや、支援者が切れ目のない支援を実践するためには各自の意識だけでは不十分であり、情報共有の仕組みの整備など組織や制度の改善の工夫が必要である。支援者が見通しを持って関われるようになることが将来的に子どもの就労選択支援につながっていくとの意見が出た。

→合同部会に際して子ども部会からは、「子ども本人が就労選択について考えられるようになるために必要な支援を整理する」ことを議題として提案する。

4 支援が必要な子ども等のためのサービスガイド（仮）について

地域福祉課より、市民から「産まれてからの支援の流れが視覚的に分かる資料はないか」というご意見が寄せられたことについて報告があった。これを踏まえ、地域福祉課では年代ごとの相談先・支援資源をまとめた資料を市で作成する予定であることが共有された。作成に当たって、ヘルピーネット内で部会員からの意見を募ることとなった。

→第3回の部会までに地域福祉課が作成した素案を部会員にヘルピーネット

	で共有し、部会員からの意見を盛り込みつつ、第４回部会を経て完成させる。 ５ その他 （１）事業所交流会との情報共有 事業所交流会について改めて共有した。子ども部会部会長は必要に応じて助言・サポートを行う。６月に開催されたＲ８年度第１回事業所交流会で参加者に実施したアンケート結果も共有された。その中で、参加者からは将来像が見えにくい中で支援していることへの不安や、将来の見通しを知りたいというニーズがあることが分かった。 （２）就学説明動画について 子育て支援課から、今年度は就学説明動画についてのチラシを作成せず、市のホームページを案内する形をとった旨について報告があった。事業所で保護者に説明する場合には、市の広報の該当ページか本日の資料を使ってほしいとのことであった。来年度にチラシを作成するかどうか市で検討していく。 （３）週末の過ごし方カレンダーについて 週末の過ごし方カレンダーについて事務局より報告を行った。社協ホームページへの掲載に加え、特別支援学級の保護者へ周知を行ったところ、閲覧数が増加したことを踏まえ、今後も継続的に周知していくことを確認した。 （４）医療的ケア児の現状と今後について 医療的ケア児については、市役所の担当部署や医療的ケア児コーディネーターで情報共有を行っており、子ども部会でも必要があれば議題として取り上げていくことを確認した。第４回部会では議題として取り上げ、子育て支援課から担当者が出席予定であることも共有された。 （５）その他 日進市障害者週間イベントに向け、今後詳細が分かり次第、必要に応じ子ども部会として出来ることを検討する。 ６ 本日のまとめと次回検討課題 年間スケジュールと連絡方法の確認、特別支援教育コーディネーター研修の方向性の確認、就労部会との合同部会の議題案作成、子ども支援サービスガイド作成の段取り設定を行った。 上記研修および合同部会の振り返りと来年度に向けて、医療的ケア児の現状と課題、来年度の取り組みについて、それぞれ検討する。
提出書類	別添のとおり
次回開催日時	令和８年９月２日（水） １４時００分～１６時００分
次回会場	にしんマスプロ市民会館 展示ホール

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

令和8年度 子ども部会員名簿

番号	選任内容	氏名	所属等	備考
1	児童発達支援 放課後等デイサービス	谷本 由美	NPO法人リビングサポートあいあいの家 おひさまルーム	
2	児童発達支援 放課後等デイサービス	山本 哲也	株式会社セツテ A Light	
3	放課後等デイサービス	岡田 美穂	NPO法人じゃんぐるじむ Jclass	
4	放課後等デイサービス	改田 真美	社会福祉法人 ポレポレ 放課後等デイサービスえがお	
5	児童発達支援センター	春日井美紀子	社会福祉法人日進市社会福祉協議会 日進市子ども発達支援センターすくすく園	
6	地域の児童福祉施設	武弘 和通	社会福祉法人中日新聞社会事業団 中日青葉学園	欠席
7	医療関係者	丸山 美希	Future Free Care 合同会社 リブレイン・ラボ	
8	学校関係者	浅野 沙織	愛知県立三好特別支援学校	
9	学校関係者	藤森 祐紀	日進市学校教育部 学校教育課学校支援室	
10	学校関係者	近藤 文子	日進市学校教育部 学校教育課学校支援室	
11	市職員	奥田 佐智子	日進市健康こども部保育課	
12	市職員	岩松 歩実	日進市健康こども部健康課	
13	事務局	武田 裕子	日進市福祉部地域福祉課	
14	事務局	宇佐美 香津美	日進市地域生活支援センター	
15	事務局	西澤 伸太郎	日進市子ども発達支援センター	
16	事務局	楊河 健太郎	日進市子ども発達支援センター	
17				
18				